

2024 年度 三浦外洋セーリングクラブ
基金総会・通常総会議事録

開催日：2024年2月12日(水)19:00~19:55

場所：新橋駅前ビル1号館6階606 セミナールーム+Zoom ミーティング

1. 開会の言葉

庄野理事の進行により 2024 年度三浦外洋セーリングクラブ基金総会・通常総会開催の宣言があり 2024 年度基金総会から開催された。開会に先立ち定数の確認が行われ、会場およびオンライン出席者 20 名。委任状が 33 名。議決権行使 37 名が賛成。総数 90 名となり規約にある会員の 4 分の 1 を越えて出席されている為、総会成立が確認された。

2024 年度基金総会

石原基金会長が欠席の為、飯島会長より石原基金会長の挨拶の代読が行われ、坂口事務局長より 2024 年度基金の収支決算報告が発表された。

1、2024 年度基金総会決算報告、2025 年度基金予算決定の件

坂口事務局長より 2024 年度会員数 234 名、基金収入が 234,000 円。雑収入 317 円を加え 234,317 円が積み立てられ、前期繰越金 11,403,574 円と合わせると、次期繰越金は 11,637,891 円になると報告があった。2025 年度基金予算は例年通り会員 1 人あたり 1,000 円を積立てるため同程度の金額が積み上がると想定していると報告があり承認可決された。

2024 年度三浦外洋セーリングクラブ通常総会

1、開会の言葉

庄野理事の進行で三浦外洋セーリングクラブ 2024 年度通常総会が開催された。

2、会長挨拶

飯島会長より当クラブが単年赤字を出している問題点をあげながら 2025 年度は対処していきたいと挨拶があり、総会議事録作成人として加藤理事、総会議事録署名人として栗山理事・鈴木理事を指名した。

3、定足数の確認

庄野理事より定数の確認が行われ会場出席 17 名、委任状等合わせて 92 名が参加。会則正会員 231 名の 5 分の 1 以上の出席を満たしている為総会成立が確認された。

<議事>

第 1 号議案 2024 年度事業報告及び決算報告の件

坂口事務局長より 2024 年度の事業報告資料を配布し報告をおこなった。期末時点の会員数、登録艇数は会員 236 名、JSAF 登録艇数 86 艇であった。2024 年度の一般会計決算案は収入 1,823,814 円、支出 2,176,689 円 当期収支差額 ▲352,875 円となった。

2024 年予算では収支差額 ▲2,025,826 円を想定していたが、バージ作成予算 1,200,000 円の使用を見送ったため予算よりも少ない赤字収支となった。また、他の要因としては諸物価高騰と関係者高齢化による慶弔費の増加などであるとの説明があった。

JSAF 関係・基金について、当期収入計 2,003,350 円、支出が 2,003,350 円、収支 0 円になることが報告され、2024 年度決算は前期繰越金 9,354,227 円に ▲352,875 円を引き次期繰越金が 9,001,352 円となり、三井住友銀行日本橋支店と三菱 UFJ 銀行月島支店に貯金されていると報告があった。

・2024 年度事業報告及び決算報告に関する監査報告

会計監査について最川監事より、1月に小川監事と会計監査を行い適正と認めたこととの報告があった。

事業報告に関して、荒嶋レース委員長よりレース費が予算より少なかったのはリビエラ様の好意で運営艇を貸して下さったこと、高木安全委員長よりサバイバルメディカルトレーニング補助予算を想定していたが参加者がいなかったこと、2025年はトレーニングの参加人数が把握できているので予算に組み入れたと補足があった。第1号議案は全会一致で承認可決された。

第2号議案 2025年度事業計画および予算決定の件

坂口事務局長より2025年度の一般会計予算案資料を配布し主要な事業の説明が行われた。

＜事業計画について＞

- 総務委員会 各委員会およびフリートの事業をサポートする。全国外洋系団体長会議、事務局長会議に出席、他団体との調整を図る等。
- レース委員会 新春親善レース、小網代フリートレース、リビエラ湘南レース、ショートハンドチャレンジ123、相模湾オープン、石廊崎レース、トランスサガミヨットレース、ヨコヤマカップ、若大将カップ、第63回小網代カップを開催共催予定。またドローンマークの導入可否について引き続き調査検討をする。
- ルール委員会 外洋三崎と共同でルール勉強会を実施予定。B級ジャッジ・レースオフィサー更新講習会を外洋4団体共同で実施予定。
- 安全委員会 外洋三崎と共同で安全講習会を実施予定。受講援助制度の対象を拡大「救命講習」「サバイバル・医療トレーニング」の受講援助の実施。
- 計測委員会 計測業務を実施。ORCC、IRCの証書発行、事務手続きのアドバイスをを行う。
- 通信委員会 都市計画道路西海岸線計画における、みさきヨット局通信障害への対応打ち合わせ等を随時行う。みさきヨット局送信所の空中線状況の確認。外洋レースの通信バックアップを行う。
- フリート
 - シーボニアフリート 主幹レースを盛り上げる。
 - 小網代フリート KFR および小網代カップレースを主催その他 MOSC 関連レース運営に協力する
 - 佐島フリート 湘南レースの運営に協力する。
 - 事務局 会員管理、セラーズ保険など日常的会員サービス業務を実施していく。特に JSAF 新会員システムの導入のサポート。

各委員会の活動予定を発表後、一般会計予算案を説明し、ここ数年高齢を理由に退会する方が増えていることなどを踏まえ前期同程度の当期収入計1,866,398円を見込んでいると説明があった。当期支出は、物価高騰と JSAF の新しい会員管理システムに伴う事務局費用の支出増が予想されることから当期支出計2,670,000円を見込んでいると説明があり、収支▲803,602円の赤字予算案を組んでいると報告された。

小網代フリート藤村キャプテンより、レース委員会費用の小網代カップ運営補助費は使用した実績がないためその文言を削除して欲しいと要請があり承認された。

飯島会長より総務委員会バード制作について2024年予算を組んでいたがバードデザインの意見集約ができず一旦取りやめにすると理事会で承認され総会でも予算から削除されていると説明があった。

JSAF 関係と基金の説明後繰越金について、2025 年収入は 1,836,500 円、支出 1,836,500 円、収支 0 円となる。

2024 年度の前期繰越金 9,001,352 円に対し 2025 年度の収支は▲803,602 円となり、次期繰越金が 8,197,750 円を見込んでいると説明があった。

高木理事より 2026 年度に向けて赤字予算の解消対策を 2025 年度半ばからしっかり議論をしていこうと意見提案があった。

五十嵐理事から 120 万円のバージ製作をやめた件についてそれまでにかかった予算は取っておかなくてはならないのではとの質問に対し、庄野理事よりすでに精算済み当クラブからの支出はないとの説明があった。第 2 号議案は全会一致で承認可決された。

坂口事務局長からみさきヨットの 2024 年度収支報告があった。2024 年度は 11 艇加盟で収入計 154,073 円。支出計 19,875 円当期収支差額 134,198 円。前期繰越金 691,560 円に 134,198 円を加え次期繰越金は 825,758 円となったと報告があった。現在使用中の無線機が壊れたら 150~200 万円程度の費用が必要となるため、引き続き支出を抑えて貯蓄していきたいと説明があった。

第 3 号議案 2025 年度理事の選任について

本年度を持って退任する神崎慎一郎氏に代わりシーボニアフリートから新任理事に菅野博志氏が候補として推挙され承認可決された。菅野博志新任理事より挨拶があった。その他の理事についてはそのまま継続することを確認した。

閉会の言葉

以上をもって本日の会場および Zoom のハイブリッドによる基金総会・通常総会を終了した旨を述べ 19 時 55 分閉会した。

以上の決議及び議事の経過を明確にするため、議事録署名人は次に署名する。

2025 年 月 日

議事録署名人

2025 年 月 日

議事録署名人